

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市馬場町1100

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日本トーカンパッケージ株式会社 滋賀工場
滋賀工場長 松田 芳征

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日本トーカンパッケージ株式会社 代表取締役社長 浅名 弘明
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都品川区東五反田2-18-1 大崎フォレストビルディング16F

1 事業所の概要

事業所の名称	日本トーカンパッケージ株式会社 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県草津市馬場町1100								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	4	3	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 段ボール製造業			
事業の概要	段ボールシート・ケースの製造								
従業員の数	127	人	操業時間	16	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	1	台	熱源設備	4	台	照明設備	1223	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	36	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2027	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

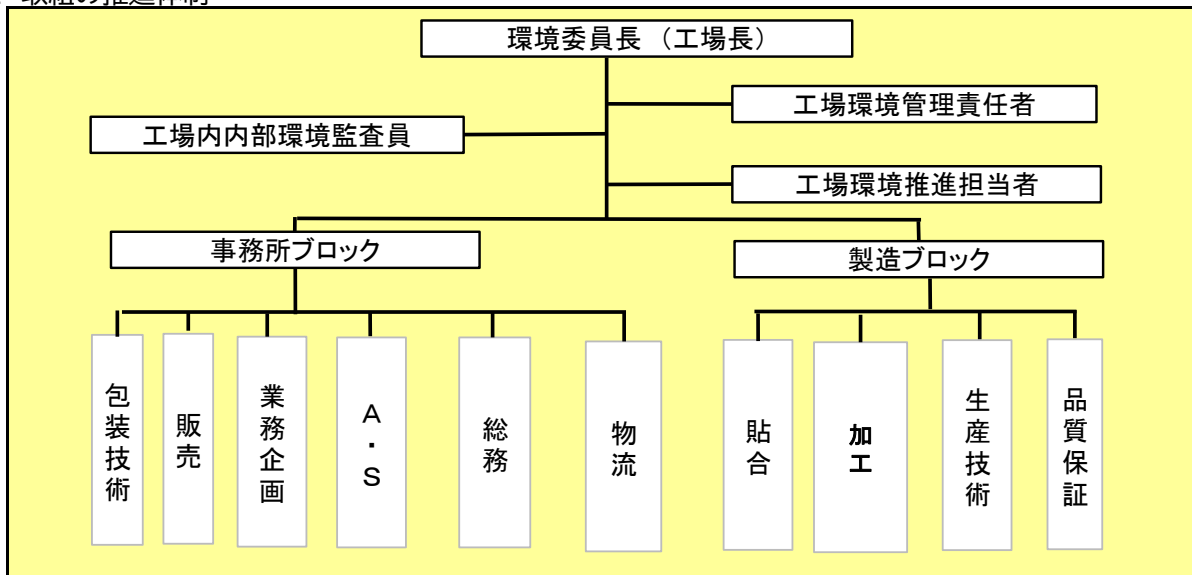
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環 境 方 針	
	2025年4月1日
<p>基本理念</p> <p>東曜興業グループは地球環境を持続可能とするためバリューチェーンの環境課題に継続的に取り組む社会に貢献します</p>	
<p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネルギー・創エネルギー活動および再生可能エネルギー導入に取り組む自らの温室効果ガス（GHG）排出量を削減します 2. 製品ライフサイクル（資材調達・生産・物流・消費・リサイクル・廃棄）の各段階における環境負荷を意識し技術を常に進化させて商品開発します 3. 持続可能な原材料の調達やリサイクルを推進し生物多様性や資源循環に配慮した活動を行います 4. ステークホルダーとの環境コミュニケーションを向上し相互理解を深め相乗効果を創造します 	
<p>東曜興業株式会社 代表取締役社長 田辺 憲信</p>	

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

<p>環境マネジメントシステム(ISO 14001)認証取得 ボイラー燃料を都市ガスに転換 コンプレッサー台数制御装置設置 水銀灯を高効率タイプ(LED)に変更 フォークリフト LPガス→リチウムイオンバッテリー車化 冷暖房の室温取り決めと各所への温度計設置 社用車を順次ハイブリッドカーに置き替え PCB使用機器の全廃 HCFC(フロンR22)使用機器の計画的廃止 気空調よりガス空調への一部更新</p>	電
--	---

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

取組項目	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1 プロセス改善	不良率の削減に取り組み、生産過程で使用するエネルギー、資材、副資材等の使用資源有効活用を図る。	2024年～2027年	活動中
2 設備導入	フォークリフトのLPガス→リチウムイオンバッテリー式への更新	2024年～2027年	2026年導入予定
3 設備導入	照明機器の更新(蛍光灯→LED化)	2024年～2027年	2027年更新計画中
4 運用改善	生産開始前の準備運転時間の見直し(ボイラー・コンプレッサ)	2024年	年間の外気温に応じて、運転時間見直し
5 設備導入	電気空調1台の更新により、ガスヒートポンプ式空調(GHP)により、電気使用量削減を図る。	2025年	2025年10月導入に向けて立案中。

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>段ボールリサイクル率95%以上で100%を目指します。また上記の取り組みにより、エネルギーの原単位1%を図ります。</p> $\frac{\text{エネルギー使用量(原油換算)}}{\text{倉入れ生産量(m}^3\text{)}} = \text{前年度1\%削減}$	<p>当社は特定事業者(省エネ法)として取り組みを行っており、継続的にSクラスとなるように計画立てて取り組んでいます。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2024)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL 1,504	1,468				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂ 2,506	2,418				
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂ 2,506	2,418				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂ 0	0				
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移	0.025	0.024				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
主要生産品の段ボールはリサイクルに優れ、回収率95%以上の数値で製紙工場において再利用されています。自社内では100%リサイクルを行っています。しかし、最終ユーザー(一般消費者)に於いては、一部の段ボールの機能性から「つぶし難い」、「たたみ難い」商品が有り、その一部は一般廃棄物として廃棄されている可能性があります。今後、引き続き段ボールのリサイクルを促す為、「リサイクルマーク」の印刷及び顧客、一般消費者への段ボールリサイクル化への呼びかけを行い、また、消費者の排出を容易にするためにさらに「つぶし易い」、「たたみ易い」段ボールの開発・普及に努めてまいります。	段ボールのリサイクルに対し積極的に対応を行っており、低炭素社会実現に向けてこれまで同様引き続き努力しております。また、省資源製品(使用材料削減・変更・坪量ダウン、CO ₂ 排出量削減効果等サンプル作成)の設計・商品開発により資材調達から生産、物流、消費、廃棄に至る各段階での環境負荷低減、特にCO ₂ 削減に向けた取り組みを継続して
	CO ₂ 削減貢献量
	2023年に対しての削減量 88 t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
段ボールリサイクル率95%以上 100%を目指します。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
事業所内より排出される段ボールの古紙等は100%リサイクルされています。また、販売する段ボール製品つきましても、段ボールは”リサイクル品”として顧客ユーザーを含め積極的にアピールを行い、リサイクル化を進めています。なお、現在、段ボール製品は最終消費者にも古紙回収できるものとして認識されており、リサイクル化が積極的に展開されていると考えています。
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
2024年に関しては、省エネ効果が大きい設備の導入はございませんでした。その中で製造ラインでの生産性向上や不良率の低減に向けた活動を行い、電力の総使用量削減に努めました。

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,506	2,418					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,506	2,418					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh							
特記事項								

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
グリーン証書の購 入	t-CO ₂							
クレジットの購入	t-CO ₂							
特記事項								

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告						
		(2024)年度	()年度	()年度	()年度	()年度		
保有車輛の数	台	19	18					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	13	15					
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				